

## 6-3 日本における年平均潮位差 (1960 ~ 1971)

### Differences of Annual Mean Sea Level in Japan (1960 ~ 1971)

国土地理院 地殻活動調査室

Crustal Activity  
Research Office,  
Geographical Survey  
Institute

日本周辺海域を、海岸昇降検知センターの分類に従って7つに分け、それぞれの海域に基準検潮所を設けた。すなわち、釧路、宮古、油壺、細島、佐世保、輪島、忍路の各基準検潮所である。各海域について、1960年以降1971年までの各検潮所と基準検潮所の年平均潮位の差を求めた<sup>1)</sup>。第1図に各検潮所の位置を示す。

第2, 3図においてグラフの上昇(下降)は、それぞれ後者の土地が前者に対して相対的に隆起(沈下)していることを示している。

第2図で花咲は釧路に対して上がっているが、これは水準測量結果とは逆である。今後これらの検潮所を水準路線に取りつける必要がある。鳥羽検潮所はその付近の地盤が悪くその付近だけが沈下しているらしい。また、三宅島の異常潮位差は海象の影響が大きいものと思われる。

第3図から鼠ヶ関は新潟地震後数年間、輪島に比して下りぎみであったが、最近沈下はとまったようにみえる。

以上日本全体の検潮資料からは現在のところ特に異常な地殻変動は認められないようである。

#### 参 考 文 献

- 1) 藤田尚美：年平均潮位の差から求めた大地震前の異常現象，地震予知連絡会々報第5巻  
72 ~ 73

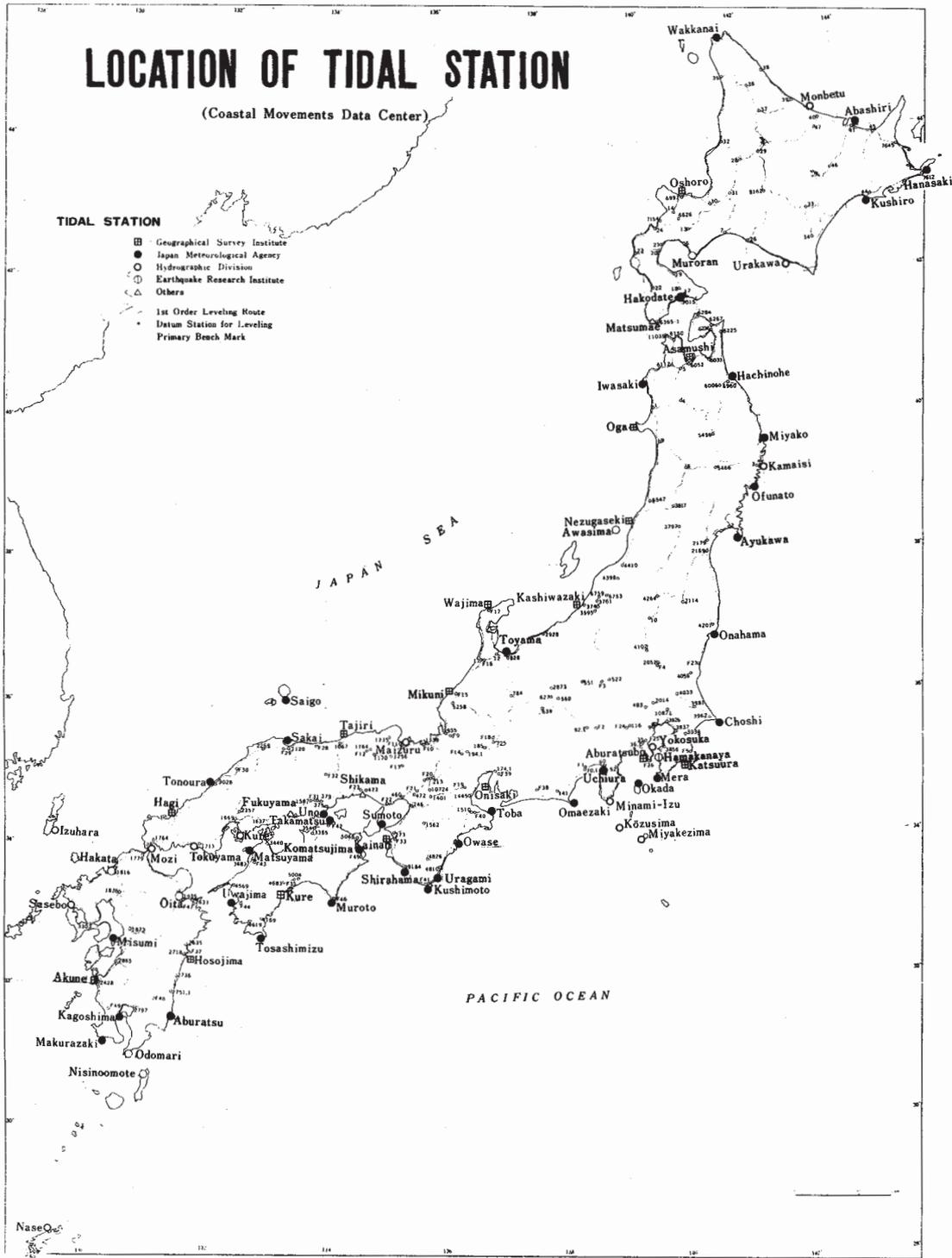
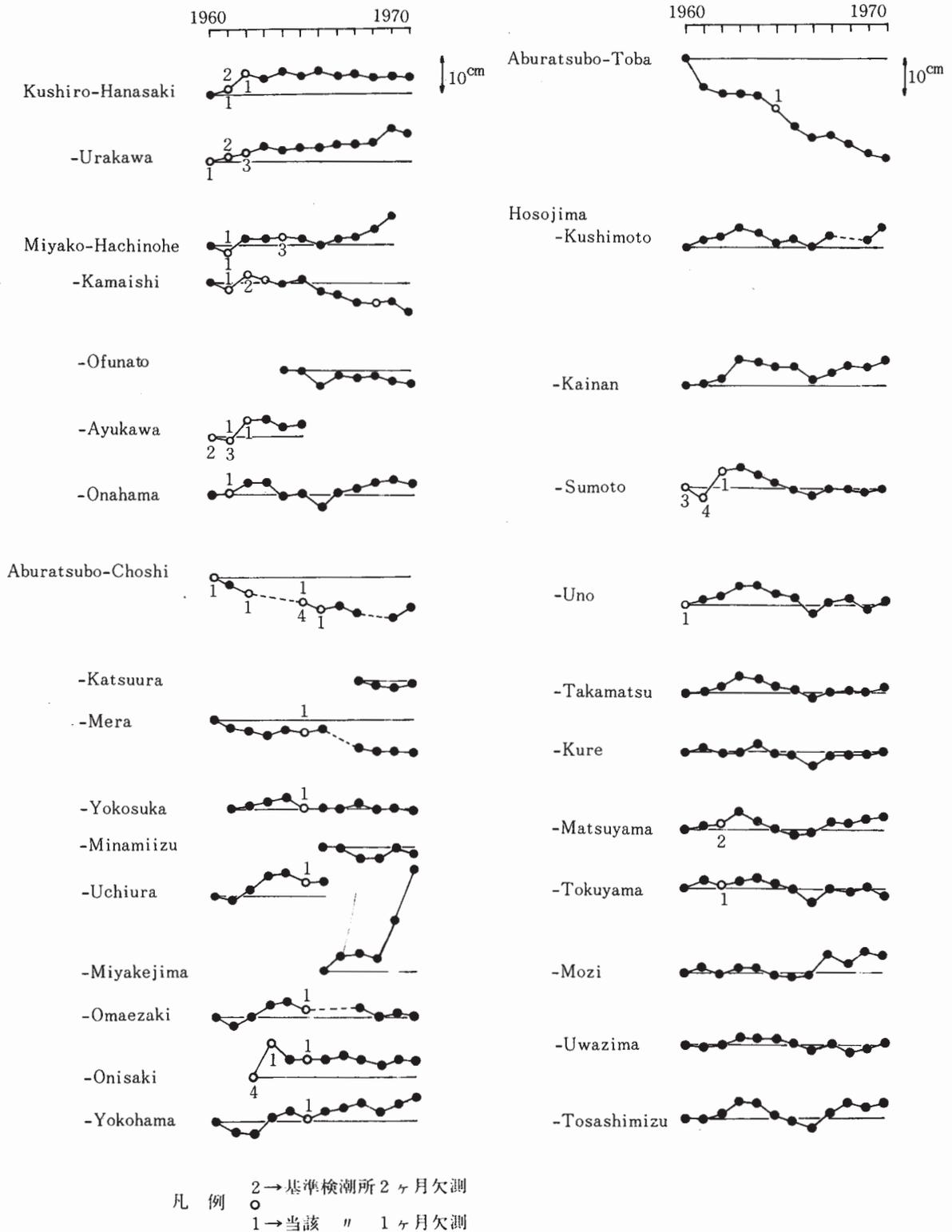
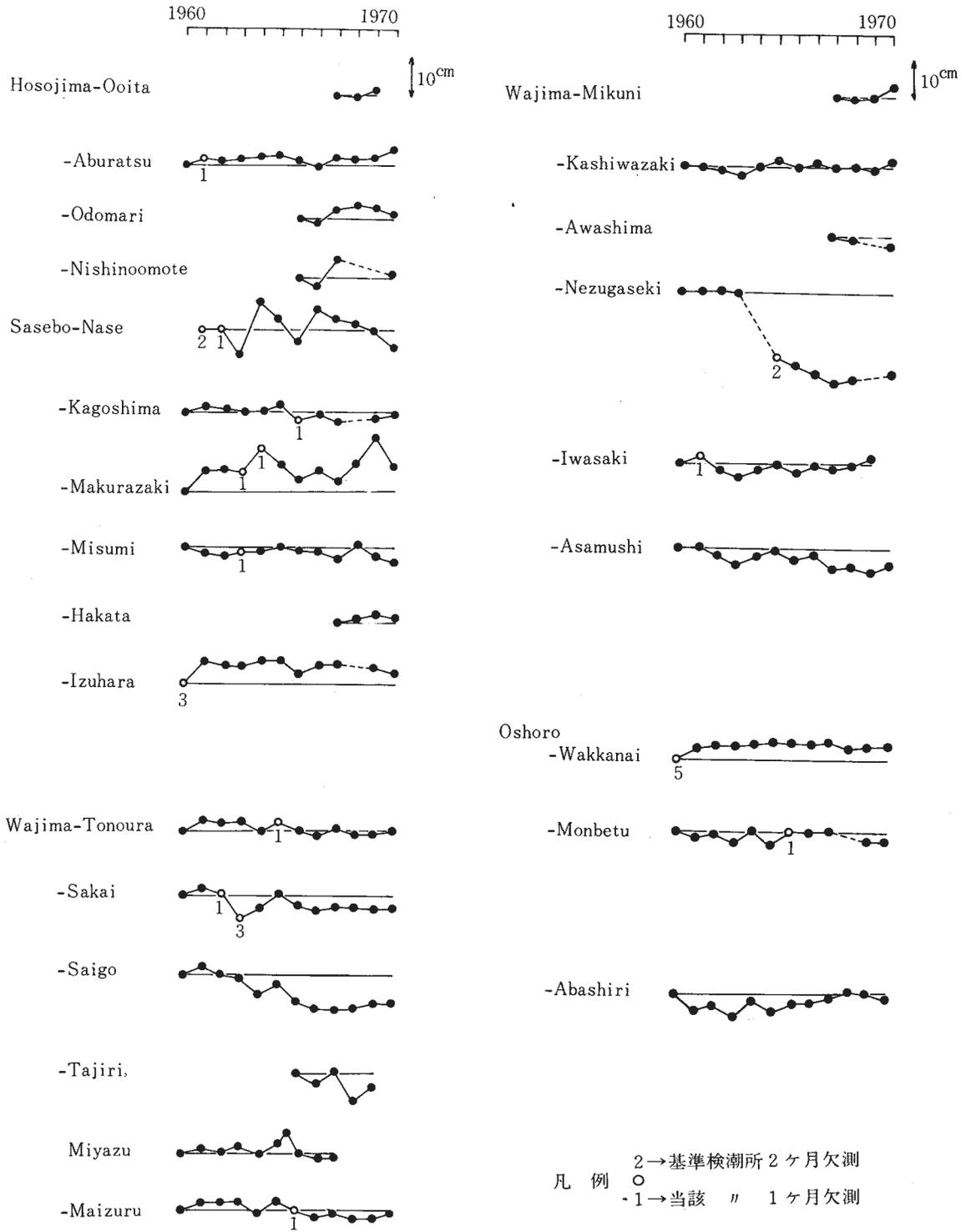


Fig. 1



第2図 最近10年間の年平均潮位差(1)

Fig. 2 Differences of annual mean sea levels in recent ten years (1)



第3図 最近10年間の年平均潮位差(2)

Fig. 3 Differences of annual mean sea levels in recent ten years (2)